第６表

インバランス等収支計算書

2025年４月１日から
2026年３月31日まで

（単位　百万円）

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	247,173	営業収益	256,093
地帯間購入電源費	70,849	地帯間販売電源料	83,474
（インバランス対応取引費用）	(52,367)	（インバランス対応取引収益）	(55,384)
（インバランスネッティング費用）	(8,840)	（インバランスネッティング収益）	(20,077)
（広域運用調整電力量に係る費用）	(9,641)	（広域運用調整電力量に係る収益）	(8,012)
他社購入電源費	165,841	他社販売電源料	79,167
（インバランス対応取引費用）	(35,660)	（インバランス対応取引収益）	(47,799)
（インバランスの買取りに係る費用）	(98,800)	（追加供給電力量に係る収益）	(-)
（追加供給電力量に係る費用）	(-)	（追加供給力に係る収益）	(-)
（追加供給力に係る費用）	(-)	託送収益	82,314
社内取引費用	10,482	接続供給託送収益	82,314
（インバランス対応相当額取引費用）	(-)	（インバランスの供給に係る収益）	(82,314)
（インバランスの買取相当額取引費用）	(10,482)	（インバランスリスク料に係る収益）	(4,299)
		（インバランス調整に係る収益）	(-)
		社内取引収益	11,138
		（インバランス対応相当額取引収益）	(-)
		（インバランスの供給相当額取引収益）	(11,138)
		（インバランスリスク料相当額取引収益）	(4,368)
特別損失	-	特別利益	-
（インバランス調整に係る費用）	(-)	（インバランス調整に係る収益）	(-)
インバランス等取引利益	8,920		

注１：インバランス等収支計算書の算定
インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。

財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。なお、2025年度における確定額は、営業費用258,349百万円（地帯間購入電源費70,849百万円、他社購入電源費177,017百万円、社内取引費用10,482百万円）及び営業収益264,584百万円（地帯間販売電源料83,474百万円、他社販売電源料81,224百万円、託送収益88,747百万円、社内取引収益11,138百万円）である。

注２：インバランス等収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は6,024百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は8,887百万kWhである。

注３：2025年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は6,612百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は9,488百万kWhである。

注４：インバランス等収支計算書におけるインバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は△17百万円である。